



冷却装置停止にひやり

四月には熊本地方でM(マグニチュード)六・二・M七・三の地震。先月、二十一日には鳥取でM六・六の地震で大きな被害。続く大きな地震

断層のなかつた所で

鳥取地震は断層のなかつた所に、断層が出来た。即ち、断層は何も無い所でも出来る事が証明された。原子力規制委員会で「活断層か、そうでないか」などと論議しているが、そんな論議はナンセンスではないか？

大きな地震が続くと思っていたら、二十二日早朝、福島県沖で地震。この地震はM七・四。震源は福島県沖約五十キロ深さ十キロの所。家の倒壊などの被害は報道されていない。

しかし、津波は押し寄せた。仙台港で一・四メートルの津波。小型漁船の転覆などがあつた模様。原発では

福島第二原発三号機では使用済燃料プール冷却装置のポンプが停止。ずっと、止まったままだった。使用済み燃料棒がメルトダウンしてしまう。東日本大震災の余震として今回程度の地震は想定されていた筈なのに。もっと主要な機器に深刻な故障が起きていたらと思うと背筋が凍る気がする。

ギネス認定 百八米の大蛇神輿の倉

群馬県沼田市老神温泉
二〇一六年十月二五日

その昔、赤城山の神と二荒山(日光男体山)の神とが戦場ヶ原で領地争い。赤城山は蛇、二荒山は百足に化けて戦争。赤城の神は矢傷を受けた。その矢を老神の地で抜き地面に刺すと温泉が湧き出たという。湧き出た温泉に浸かった蛇はみるみる傷が直り、すぐ

に元気に。見事百足二荒山の神を追い払った。そこで温泉は「追い神」と呼ばれるようになったそうだ。

赤城神社の御神体が白へビ青大将の突然変異なので、青大将を模して長さ百八米の神輿を作成。五月の祭りで温泉街を練り歩

という。

その神輿を納める為に絵のようなコの字型の収蔵庫を建設。入りきらないので半分は切つて、納めてある。

コの字の中庭には、冬をのぞいて、毎日朝市が開かれる。丁度、その準備に皆さん余念のない様子であった。

